



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 斎藤 章
- 幹事 井辺 一章
- 会報委員長 伊藤 松寿



「富山雨晴海岸の朝焼け」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

先週に引き続いてのDNAのお話です。今週はY遺伝子も検討します。

5. 日本列島は多くのグループが往来する「賑やかな回廊」だった

その他にも、日本人の7%を占めるグループAは、バイカル湖周辺で3万年ほど前に誕生し、北東シベリアと北中米先住民の過半数を占める。旧石器時代のシベリアでは、マンモス・ハンターと呼ばれる狩猟民がいたことが知られているが、その一部が縄文以降に日本に入った可能性が指摘されている。

こうした実に多様なグループが日本列島にやって来て、しかも現代日本人の中に遺伝子を残しているのである。

日本はアジアの東端の「どん詰まり」の列島というイメージを抱きがちである。しかし、こうした多様かつ重層的な遺伝子グループの存在を見る限り、日本列島はアジア大陸の一部をなす「回廊」であり、多くのグループが往来し、さらには朝鮮半島に渡ったり、樺太やカムチャッカ半島から、アメリカ大陸に渡っていった人々もいた、という賑やかな往来をイメージした方が良さそうだ。

日本列島は、太古の昔から多くのグループが往来する「賑やかな回廊」であったのである。

6. 平和的な共存か、戦闘か

「賑やかな回廊」と言っても、そこで出会った様々なグループは、生存を賭けて戦いあったのだろうか。あるいは、平和的に共存し、混血・同化していったのだろうか。

この点においても、DNAの研究は興味深い事実を指摘している。九州北部の弥生時代のいくつかの遺跡から出土した渡来系弥生人とみられる人骨と、関東地方で出土した縄文人のDNAを比較したところ、両者はあきらかに異なる系統に属していることが判明した。

そして、現在の本土日本人のDNAは両者の中間的な構成になっていることが分かった。弥生人と縄文人が混血して、現代の日本人になったと仮定すると、この現象を合理的に説明できる。

まだ十分に検証されたわけではないが、多様なDNAグループが混在する現代日本人の構成を見ても、様々なヒト集団がいろいろな時期にいろいろなルートでやってきて、混血・同化し、徐々に一つの民族となっていく、と考えても良さそうだ。

7. Y染色体DNAが残す征服の痕跡

今までに述べてきたDNAは、ミトコンドリアという細胞内の小器官に属するもので、母親から子供に伝えられる。これによってたどれるのは母系のルーツである。

あるグループが別のグループを征服し、男を皆殺しにして、女性を奪った場合でも、その女性を通じてミトコンドリアDNAは残されていく。したがってミトコンドリアDNAの分析だけでは、平和的な混血による拡散と、戦闘による拡散との区別はつかない。ところが、男系にのみ伝えられるY染色体のDNAをたどっていくと、このあたりが解明できる。

たとえば南米の先住民に、ヨーロッパ系のDNAがどの程度、流入しているのかを調査した研究がある。ここでは女系のミトコンドリアDNAの比率よりも、男系のY染色体DNAの比率が6~9倍も高かった。すなわちヨーロッパから男たちが戦士としてやってきて、現地を征服し、女性を略奪して、その男系DNAを高頻度で残した、ということである。同様にモンゴルのチンギス・ハンとその子孫が、築き上げた元帝国の版図内では、チンギス・ハンに由来するY染色体DNAを持つ男性は、総人口の8%、1600万人もいる、という研究がある。

8. 平和的な共存を示唆する日本人のY染色体DNA

日本人のY染色体DNAをグループ分けすると、C、D、Oという3つの系統が90%以上を占めている。これらのグループは人類全体の系統図の中でも、互いに大きく離れており、女系のミトコンドリアDNAと同様に、日本列島のヒト集団の多様性、重層性を示している。興味深いのは、この構成が中国や韓国とは大きく異なっていることである。中国、韓国ではOが圧倒的に多く、Dはほとんど見られない。Dが多く見られるのは、日本以外ではチベットである。

グループDは沖縄では56%もの高率を占めており、ミトコンドリアDNAでのM7aグループがやはり古い起源で、沖縄で飛び抜けた高率を占めていたことと考え合わせると、これが縄文人のY染色体DNAだった可能性がある。

とすると、この現象を合理的に説明する仮説としては、中国や朝鮮半島ではOグループが戦争や虐殺によってDグループを減らしたが、日本やチベットでは平和的に共存して、両方のグループが残った、という風に考えられる。歴史が残されている後世の時代を見ても、海に囲まれた日本や、山に囲まれたチベットでは外部からの侵略者もあまりなく、内部でも激しい内乱や虐殺はほとんどなか

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

例会報告

った。それに対して、中国や朝鮮は多民族が入り乱れての戦乱に継ぐ戦乱が繰り返されてきた。先史時代においても、同様であったと考える方が、合理的であろう。

9. 「一つ屋根の下の大家族」

DNA研究は新しい学問で、まだ確定的な結論を出せる段階ではないが、以上のような研究成果を踏まえれば、様々なヒト集団が様々なルートを通じて日本列島に入り込み、そこで中国大陸などよりもはるかに平和的に融合していった様子が窺われる。

これは古事記、日本書紀に記された建国神話にも見られる傾向である。初代・神武天皇率いる天孫族は九州の日向の国を出発し、大和の地を目指していくのだが、その過程で多くの部族と出会う。抵抗する部族と戦うこともあったが、帰順して、天孫族から農業を学ぶ集団も少なくなかった。かくて大和の地にたどり着いた神武天皇は、「天地四方、八紘（あめのした）にすむものすべてが、一つ屋根の下の大家族のように仲よくくらそうではないか。なんと、楽しくうれしいことだろうか」との宣言を行う。天地四方から様々なルートを経由して、日本列島にたどり着いた多様なヒト集団が、「一つ屋根の下の大家族」のように暮らすことを理想として建国されたのが、我が国なのである。

人類はアフリカの一人の女性を先祖とする「兄弟」として始まったが、世界各地に拡散・分化した後で、再びアジアの東端の日本列島で「一つ屋根の下の大家族」として融合した、と言えるかも知れない。アフリカの一女性から生まれた人類は、各地に拡散・分化しながら、いかに日本列島にたどり着いたのか。

<幹事報告>

◎ガバナーより

- ・復興支援プロジェクト
「八軒中学校吹奏楽・合唱部
CD販売協力について」



◎社団法人高山市文化協会より

- ・平成23年度臨時総会のご案内
日時 12月16日(金) 午後8時より
場所 高山市民文化会館 2階-5
議題 一般社団法人化への移行について審議

◎高山市青少年市民会議より

- ・「第28回家族スナップ写真展」「第20回家庭の日図画展」の審査結果および展示会について
日時 12月2日(金)から12月4日(日)まで
場所 高山市民文化会館 2-5、2-6 展示室
会場準備 12月1日(木) 13:30~
会場撤収 12月4日(日) 16:00~
入賞者 別紙のとおり

◎特定非営利活動法人ソムニードより

- ・年末年始募金のお願い

<例会変更>

高山中央 … 12月26日(月)は、忘年例会のため
22日(木) 18:30~銀水庵に変更
平成24年 1月 2日(月)は、
法定休日(元旦振り替え休日)のため休会
1月 9日(月)は、
法定休日(成人の日)のため 休会
1月16日(月)は、新年家族例会のため
14日(土)18:30~ ひだろブルグ ラブに変更

<受贈誌>

台北東海RC(会報)、社団法人高山市文化協会(高山メセナメイト会報)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	41名	1名	42名	46名	91.30%
本日	40名	-	40名	47名	71.11%

新会員入会

向川原不動産鑑定事務所
向川原 毅彦さん



年次総会

2012~2013年度 役員・理事候補者についてご承認いただきましてありがとうございます。私自身に関しては力不足であります。皆様のご協力を心からお願いいたします。 会長エレクト 折茂謙一

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日



垣内 久男 12. 2 向井 公規 12. 21

◎夫人誕生日

挟土 貞吉 輝子 さん 12. 12(当日欠席)

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

例会報告

◎結婚記念日

堀川 和士

S 5 5 . 1 2 . 3

鴻野 幸泰

S 6 1 . 1 2 . 1



◎出席表彰

新田 敬義

20年

◎在籍周年記念表彰

遠藤 隆浩

10年



◎3ヶ月表彰

- ・垣内 秀文 ・垂井 政機 ・新田 敬義 ・野戸 守
- ・平 義孝 ・古橋 直彦 ・堀川 和士 ・大豆村梅次
- ・向井 公規

新会員スピーチ



がその際にも帰国できずじまいでしたので、先日ようやく墓参りに行って参りました。

お手元にお配りしました地図の通り、フィリピン共和国は約7,000程の島からなる国家で、妻はミンダナオ島のダバオの出身です。ダバオへはブトゥアンの空港から約300km、ハイウェイはありませんので時速60km程のバスで6時間程かけて移動したのですが、その

臭い話

垣内 久男

私の妻はフィリピン人です。今年の春に妻の父親が亡くなったのです

途中4つのステーションで休憩をとりました。その際のトイレでの経験が非常に印象的でしたので、本日は皆様にウンがつきますよう、臭い話をさせて頂きたいと思います。

基本的にフィリピンのトイレにはトイレットペーパーはおろか、便座も水のタンクも無い場合が多いです。あるのは便器と水の入ったバケツ、そして柄杓です。それでどうするかといいますと、座らず中腰で用を足し、右手で柄杓を持ちバケツの水を汲み、それをお尻にかけ流しながら、石鹸をつけた左手でお尻を洗うのです。

これをきっかけにトイレについて少し調べてみました。人の生活には欠かせない存在ながら、堂々と口にするのはいささか憚られる存在でもあり、呼称も古来より多種使われて来ました。「はばかり」「ご不浄」「お手水」「雪隠」という、仏教や神社から由来する古い呼び方から、おトイレ→音入れ→「カセットテープ」と言った比較的新しく出来たとされる呼称までありました。

現代の世界のトイレ事情としては、約2/3の人々は紙以外でお尻を拭いているようです。現在の日本はウォシュレットが多くなりましたが、昔は新聞紙、外での場合は葉っぱで拭いていました。私より上の世代の方々は縄や木片、竹べら等を使用した経験がおりの方もいらっしゃると思います。日本以外で変わったものを使っている国としては、サウジアラビアは砂漠地帯であり、砂。エジプトは平らな小石。アメリカのコーンベルト地帯ではトモロコシの先の毛。韓国や中国では藁、茎、ロープ。過去に遡ればローマ帝国時代の地中海地方では、天然のスポンジである海綿を使っていた様です。

フィリピンでの、手を使用するウォシュレットはかなりのカルチャーショックがありましたが、やってみると意外に気持ちの良いものでした。フィリピンは年間通じて気温が30℃~40℃ありますが、湿度が低くまた物価も安いので大変過ごしやすい所です。皆さんも是非フィリピンへ遊びに出かけてみて下さい。

イニシエーション・スピーチ

向井 公規

8月5日に高山西ロータリークラブに入会させて頂き、早いもので4ヶ月が経ちました。本日は新入会員の義務でありますイニシエーション・スピーチの機会



をいただきましたが、私自身皆様の前でお話できるような、これといった実績や経験もございませんので、私の生い立ちと、現在の仕

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

例会報告

事に関して少しお話させていただきたいと思います。

先ほどもお祝いを頂きましたが、私は昭和46年12月21日、高山市内で生まれました。今月で40歳となります。現在は美術館を中心に仕事をさせて頂いておりますが、もともとは全く畑違いの仕事に携わっておりました。

幼少の頃よりずっと医者になるのが夢でした。しかし、残念ながら1浪までしましたが、頭が足らずに医学部進学とはいきませんでした。15年程夢見ていた事なので、進路変更となった時に、何をしたら良いのかわからなくなり、半ば勢いで日本を出てみようと思いをいたしました。ハワイの大学と専修学校で、「コンピュータサイエンス学部」「ツーリズム学部」を卒業しました。出会ったコンピューターの先生の影響もあり、IT関連の仕事をしたと思うようになりました。

日本に戻ってからも、東京のIT関連の企業で3年程勤めました。大企業様のプログラムを数多く受け持たせて頂き、さらに大きな仕事に発展しそうなき、両親より地元に戻ってこないか…との連絡があり、1か月程悩みましたが、10年前の30歳の時に高山に戻りました。

昨年までの9年間はパチンコ業に専念してきました。当初は右も左もわからずにてんでこ舞いでしたが、実際にホールに立ち、寝る時間も少し削りながら没頭しました。

昨年10月からは飛騨高山美術館に入り、美術館業務に現在は打ち込んでおります。これもまた今までとは畑違いであり、更に美術に造詣が全くない私にとって、最初は相当に戸惑いがありました。また作品展示というだけでは、正直運営が厳しいものがありますので、夏場のピアガーデンや、ウェディングに特に力を入れ、収益を確保しながら安定した美術館運営を目指しております。また、並行して美術の知識や今後の運営の為にも、現在、学芸員の資格を取得すべく勉強しております。

宣伝になり申し訳ございませんが、来年、飛騨高山美術館は開館15周年を迎えます。それを記念し、ジョルジュオー展を12月17日より来年2月5日まで執り行わせて頂きます。私にとって初めての展覧会となりますので、なにとぞ皆さまのお力添えを頂けると助かりますので、1枚でも構いませんのでチケットを購入頂けると幸いです。

最後になりますが、高山西ロータリークラブで皆さまの刺激を沢山頂きながら、社会に貢献できる活動に勤しんで参りたいと思っております。とはいえ甚だ未熟な身で御座います故、何卒皆様のご指導ご鞭撻を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

<ニコニコボックス>

●齋藤 章さん

①向川原さんの再入会を歓迎申し上げます。久しぶりの再会ですが、また宜しくよろしく願申し上げます。

②本日の会員スピーチ、垣内さん向井さん宜しく願申し上げます。

●井辺 一章さん

向川原さんお待ちしております。今後とも仲良く願いたします。年次総会よろしく!!新会員スピーチ、垣内さん、向井さんよろしく!!

●向川原 毅彦さん

再びよろしく願申し上げます。金曜日は仕事の都合がつかない事ありますが、頑張ってお席したいと思っております。

●阪下 六代さん 野戸 守さん、平 義孝さん、菱川 正臣さん、新田 敬義さん、岡田 賛三さん、伊藤 松寿さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん、門前 庄次郎さん、遠藤 隆浩さん

皆様のご尽力により、本年度7人目の新会員、向川原毅彦氏をお迎えすることが出来ました。向川原さんお帰りなさい。かつてのような大活躍を期待しております。

●垣内 久男さん

いつもフィリピンパブ マブハイをご利用、ご愛顧ありがとうございます。今日は54回目の誕生日です。皆さんに感謝して少し多めのニコニコを。

●向井 公規さん

本日は新会員スピーチよろしく願いたします。お手元の資料の内容ですが、少しだけさせて頂きます。よろしく願いたします。

●堀川 和士さん

①明日31回目の結婚記念日、本日祝っていただけるよう有難うございます。今晚、次女共々町荒らしに向かいます。

②新年家族例会での親睦委員の準備会合 余興練習を毎週火曜日夜7:30から当社で行っており来週で3回目、一度も顔を見せない親睦委員の方、分かっておられますでしょうか?これでは新年家族例会が成り立ちませんよ。

●内田 幸洋さん

先週11月27日、当社創業55周年式典を200名のお客様を迎えて無事終了することが出来ました。ありがとうございました。

●河渡 正暁さん

本日公用で早退します。今度高山市で教育振興会議というものがかかります。その会議に出席します。よろしく願いたします。

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために